

各地区理事のアンケートまとめ

令和6年度
東京都小学校音楽研究会
調査部

1 研究授業の実施について（23区26市3町1郡村、全56地区）

※3町[1瑞穂町、2大島町、3八丈島+青ヶ島村]、3村[1利島村+新島村+神津島村、2三宅村+御蔵島村、3小笠原村]

研究授業を予定している地区 53

研究授業を予定していない地区 3

2 研究協議会の進め方

A 視点に沿って書いた個人の意見を付箋などに書き、少人数で話し合う 32地区

B 個人で意見を発表する 18

C Google form などを活用し、多い意見を取り上げて協議する 5

D 視点に沿って書いた小グループごとの意見交流をもとに短冊に成果・課題・質問等を書き、全体で話し合う 1

E 各研究ブロックごとに話し合い、短冊に記入し、多い意見などを取り上げて協議する 1

F 各分科会ごとで、視点に沿った個人の意見を出し合い、そこで出た意見を発表する 2

G ラウンドスタディー形式で協議→まとめを発表 1

H 今年度の協議会の持ち方はこれから決め、昨年度はゾーンに合わせてフォームを使用 1

I グループでよかったところ、改善点、質問を考え、それをもとに話し合う 1

J ジャムボードを使っての話し合いや発表 2

3 研究協議会の進め方のメリット・デメリット

A 視点に沿って書いた個人の意見を付箋などに書き、少人数で話し合う

| ○メリット | △デメリット |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・話し合う人数がちょうどいいため話しやすく、様々な考えの意見を聞くことができ、有意義な会になっている。 ・校数が少ない市なので、個人の意見を出すことでいろいろな考えを共有できる。 ・授業観察の視点について付箋に書き、共有した上で集約することで、授業者に渡すことができる。 ・質問や改善点を取り上げて解決しやすい。 ・それぞれの先生方の考え方や視点から課題と向き合うことができる。 ・毎回違うメンバーと協議ができるので、視野が広がる。 ・多角的な視野で授業について考えることができる。 ・付箋で書くと、視覚的に分かりやすく、まとめやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人数が少ないため個人研究になりがちで、特に協議会の視点もなく感想を述べ合うだけで、町全体で研究を深めている感じがしない。 ・授業後に、個人→グループ→講評と慌ただしく、落ち着いてしっかり話し込めない。また、個人の意見をグループでまとめる方法はどうしても自由度が減る。（時間を区切り各グループ代表1人残り、グループとしての見解を説明などするなども良いかも） ・他のグループの話は一部分しかきくことができない。 ・視点がブレてしまい、意見が煩雑になってしまうこともある。 ・付箋に打ち込む時間が足りない場合もある。 ・グループごとで話し合うため、それぞれの意見や感想は出し易いが、時間に限りがある。 |

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・効率よく時間を使うことができる。 ・コロナ禍では Meet 等を使ってやっていたが、参集が可能となり生の声で意見を聞くことができ勉強になる。 | |
|--|--|

B 個人で意見を発表する

| |
|---|
| ○メリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・少人数のため、盛んに意見を出し合っている。 ・一人一人の意見をしっかり聞くことができ、勉強になる。 ・部員が少ないので、全員の意見が共有できる。 ・部員が少人数であることを生かし、島内の小学校音楽専科、中学校音楽科の教員同士で授業を参観し合う機会を設けている。(年度内に1人1回以上) ・協議会にて互いの授業実践を直接紹介し合い、新しい発見をすることができている。 ・改善点や他の方法などの指摘により、個人のみならず、全部員の指導の改善につながって良い。 |

C Google form などを活用し、多い意見を取り上げて協議する

| | |
|--|--|
| ○メリット | △デメリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・協議内容の可視化や記録のためにも ICT の活用は効率が良い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・つながりが悪いことがあり、共有できないことがある。 |

D 視点に沿って書いた小グループごとの意見交流をもとに短冊に成果・課題・質問等を書き、全体で話し合う

| |
|---|
| ○メリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校数が18校の区なので、協議会は少人数で意見が言いやすく、進めやすい。 |

E 各研究ブロックごとに話し合い、短冊に記入し、多い意見などを取り上げて協議する

| |
|--|
| △デメリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックでの話し合いに時間がかかる。(人数が多いため) |

F 各分科会ごとで、視点に沿った個人の意見を出し合い、そこで出た意見を発表する

| |
|---|
| ○メリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・個人の意見が吸い上げやすい。 |

G ラウンドスタディー形式で協議→まとめを発表

| |
|--|
| ○メリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・少人数でメンバーをかえながら話すので意見を出しやすい。 |

H 今年度の協議会の持ち方はこれから決め、昨年度はゾーンに合わせてフォームを使用

| |
|---|
| △デメリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・フォームは、協議会参加者が多いと意見を取り上げる側(司会側)が大変。 |

| I グループでよかったところ、改善点、質問を考え、それをもとに話し合う | |
|-------------------------------------|-------------|
| ○メリット | △デメリット |
| ・全体で意見を共有しやすい。 | ・意見を発表しにくい。 |

| J ジャムボードを使っての話し合いや発表。 | |
|---|--|
| ○メリット | △デメリット |
| <ul style="list-style-type: none"> ・終わったあともいつでも振り返ることができる。 ・ジャムボードを利用し、少人数での意見共有、気になったものは全体共有という形でスムーズに協議会を実施できる。 ・ペーパーレスで行うことができる。 ・自動的に意見をまとめることができる。 ・配る・提出するなどがなくなり時短。 | <ul style="list-style-type: none"> ・もうすぐジャムボードが使いなくなってしまうため、今後のやり方について考えていく必要がある。 |

4 実技研の実施について（全56地区）

実施する地区 43 実施しない地区 10 未定地区 3

5 実施研修内容（複数回答含）

歌唱 11 器楽 11 ICT 6 鑑賞 5 邦楽 3 指揮 3 音楽づくり 3 音楽科教育法（授業づくり） 5 音楽朝会 1

6 具体的な研修内容

| | |
|-----|---|
| 歌唱 | <ul style="list-style-type: none"> ・合唱指導について ・作曲家の先生を招いて、先生の合唱曲作品を、教材分析しながら演奏の仕方を学ぶ。 ・主体的・対話的な学びの充実を図る指導法 ・ベテランの教員による模範授業参観と講演会 ・作曲家の先生による楽曲分析及び歌唱指導 ・『ゆかいに歩けば』歌唱 ・合唱団立ち上げ |
| 器楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生を招いて実技研修会 ・打楽器を専門とする部員が、日頃の打楽器指導の悩み等を事前アンケートをとった上で、実技研修予定 ・打楽器の全般、奏法について学ぶ。 ・昨年リコーダー指導の実技研究を実施。子供がリコーダーを好きになれるための指導法や楽譜の紹介など ・連合音楽会に向けた合奏指導について |
| ICT | <ul style="list-style-type: none"> ・カトカトーン（音楽制作ソフト+学習支援コンテンツ）の使い方を学ぶ。 ・ICTの活用、新教科書に関すること、鍵盤ハーモニカ実技指導 ・デジタル教科書の使い方（デジタル教科書を触りながら、どういう活用ができるか質問したり話し合ったりする） ・GarageBandの中学校での活用法の紹介（三鷹市は中学と合同で市教研をすすめている） |
| 鑑賞 | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生を招いて、実技研修会 |
| 邦楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・邦楽囃子 |

| | |
|-------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・芸大との連携で邦楽の実技実習 ・雅楽 ・箏のワークショップ |
| 指揮 | <ul style="list-style-type: none"> ・連合音楽会など、指揮をする場面が多いので、基礎を学ぶための講習会を実施する。 ・講師の先生を招いて『旅立ちの日に』『いのちのうた』を扱って実践を指導していただく。 ・指揮法実技研修 |
| 音楽づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生をお招きしてご指導いただく。 ・神田囃子についての講演および実技研 ・音楽づくりとワークショップ |
| 音楽科指導法 (授業づくり) | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽科指導法講座と題して、講話をいただく。 ・講師の先生より、ゾーン大会の進め方、授業づくり ・授業づくりについて指導教諭の先生をお招きして、題材内の系統性のある学習指導についてお話を伺い、ICTの活用についても教えていただく。 ・音楽朝会、詳しいことは今後研究部から提案 ・子供の興味関心を引き出し音楽の力を高める授業デザイン |
| その他 | 指導教諭の先生を講師にお招きして、研究授業の内容に沿って行っていただく。 |

7 調査要望

- ・音楽教師人生の中で、講師から教わった、学んだ忘れられない言葉。
- ・音楽教師人生の中で、ずっとこだわりをもって取り入れている教材など。
(例：6月は環境月間だから、「もののけ姫」の歌で自然破壊についても触れながら歌唱の授業をするなど)
- ・他地区と交流ができるとよいが、各校校内事情で出張することが難しい現状があるため、オンライン等が活用できるとよい。
- ・一部の先生方に負担が偏らないようにしたい。
- ・ESDに基づく音楽の授業や行事について知りたい。
- ・お忙しいところ、いつもありがとうございます。さまざまな地区の様子がわかるので、今後も調査を続けていただきたい。
- ・連合音楽会や校内音楽会についての情報共有。
- ・歌唱、器楽、鑑賞、音楽づくりにどなた（講師）を呼んだらよいのか。